

JAAF
SHIGA

滋賀陸協広報

一般財団法人 滋賀陸上競技協会
〒520-0037 大津市御陵町4-1 皇子山陸上競技場内2-1室
TEL/fax077-527-3925 <http://srkshiga.com>

一般財団法人滋賀陸上競技協会
専務理事 坂 一郎

令和3年度を振り返りますと、日本国内外を問わず、激動の時代となりました。東京オリンピックが成功裡に終了することができ、ホッとする心の余裕のない中で、オミクロン株による第6波が押し寄せてきている状況であります。

スポーツ界でも多くの大会が中止となり、その中でも「とこわか国体」「都道府県対抗男子駅伝大会」の中止は、大変残念でありました。特に開催2週間前の男子駅伝中止は、相当の動揺や困惑が走り、関係するみなさんがやり場のない悔しさを抱えたのではないのでしょうか。このような状況にもかかわらず、2月6日には、希望が丘スポーツゾーンで、全日本びわ湖クロスカントリー大会兼第7回中学生クロスカントリー大会が開催されました。登録女子6*₂に出場した、東京五輪1500m8位の田中希実（トヨタ自動織機TC）選手の走りに格の違いを見せつけられ感動することができました。

さて、もうすぐそこに春（令和4年度）を迎えます。コロナウイルスの影響を受け、体験したことのない味増有の厳しい状況になるやもしれません。このような中で、4年度の事業計画、それに伴う事業予算の作成に四苦八苦しているところです。経常収益では、コロナ禍での大会の減少に伴う収入減、人口減に伴う登録者の減少等々が影響しております。

したがって、事業支出の節約をせざるを得ない現状であります。滋賀県からの強化対策費の交付もなかなか厳しいものになりそうです。各種大会への派遣につきましても、協会の負担額の減額すなわち選手の負担の増をお願いせざるを得ないところです。

また、登録料、各大会における参加料につきましても、3年度と変わりませんが、日本陸上競技連盟では、登録料の値上げを近々年に実施を行う状況ではあります。

最後になりますが、滋賀県では、来年3月12日(日)にびわ湖毎日マラソンに代わる新しいマラソン大会を計画しております。日本陸上競技連盟公認の大会で7,000~8,000人規模の大会です。主管陸協として大会に協力することとなります。びわ湖毎日マラソンでの審判実績を新しいマラソン大会でも生かせれば……と考えます。皆様のご協力をお願いし第9号の挨拶といたします

【 総務委員会 】

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大会開催も無観客や感染予防対策で選手や大会関係者の皆さんにご迷惑をおかけしました。また、今年度は役員改選の年に当たっており、来る2025年国スポ滋賀大会の開催に向け重要な時期になっておりました。このような状況の中、理事会や評議員会を招集し、事業執行・方針決定について承認を得たところですが、評議員会については書面決議となりました。

総務委員会・統括委員会幹事会や各専門委員会をフルに活用しながら対応にあたっていました。

今後も新型コロナウイルス感染拡大防止対策などで世の中が激動する中、県陸協も奥村会長を先頭にしっかりとした大会運営に加え、危機管理、増加する経費など多くの課題に取り組んでまいります。会員のみなさまのご協力をお願いします。

評議員会・理事会

令和3年3月21日(日) 理事会／①令和3年度事業計画・収支予算について ②令和2年度栄章受賞者の決定について

令和3年3月31日(水) 評議員会(書面決議)／①令和3年度事業計画および収支予算について

令和3年5月15日(土) 理事会／①令和2年度事業報告および決算報告について、②旅費規程の改正について、③技術提供規程の改正について他

令和3年6月12日(土) 評議員会(書面決議)／①令和2年度事業報告および決算報告について ②令和3、4年度役員の改選(案)について

令和3年6月12日(土) 理事会／①会長(代表理事)の選任について、②業務執行理事・事務局長等の選任について、③専門委員会について他

令和3年8月9日(月・祝) 理事会／①補正予算について、②国体の派遣選手・監督・コーチについて他

令和3年12月5日(日) 理事会／①都道府県対抗男子・女子駅伝の選手・監督・コーチについて、②役員の補充について、③年鑑の電子化について他

【 強化委員会 】

＜滋賀小学生陸上チャレンジフェスタ (シガリク) が無事に終了＞

去る11月6日(土)、布引グリーンスタジアムにて第5回滋賀小学生陸上チャレンジフェスタ (シガリク) を開催いたしました。昨年はコロナ禍の為、やむを得なく中止決定をいたしました。今年は無事に開催でき、県内の小学5年生122名にご参加いただきました。

開式後は、『走・跳1・跳2・投』の4種類から選ぶ教室に参加からスタートです。跳躍チームは、棒高跳と三段跳に初チャレンジです。最初は難しそうな顔でチャレンジをしていましたが、その内にどんどん笑顔が溢れ、最後はとても楽しそうに、また、思い切った助走やジャンプをしてきていました。

その後は、100m・1000m・走幅跳・ジャベリック投の中から2種目選択をし、計測です。自己ベストが出た選手、緊張しながら一生懸命に取り組んだ選手など、皆さん、目を輝かせながら楽しそうに取り組んでいました。

今年も開催はされませんでしたが出された国体選手が参加してくれました。お昼休憩の時間には瀬古選手と荻野選手の走幅跳対決が行われ、小学生の目の前で2m00オーバーのJUMPに大興奮でした。バーの下へ行き、2m00が自分の身長よりどれくらい高いかを体感し、その凄さに「かっこいい」との声が多数ありました。また、遠藤選手の走幅跳を砂場の真横で見ることができ、助走の速さや力強い踏み切り、7m00オーバーを軽く跳ぶJUMP力にも大感動です。「将来、このような選手になりたい！」と多くの小学生が夢を描いていたと思います。

そして最後は、表彰式とお楽しみ抽選会です。多数の商品とともに、桐生選手からのサインがあり、大興奮！また、電話で桐生選手から小学生にエールをいただけ、盛り上がった表彰式となりました。

今年度も、国体選手のパフォーマンスを間近で見ることや一緒に走ることができるなど、とても楽しそうに一生懸命に取り組んでいる小学生の姿が印象的なイベントとなりました。今後も継続し、将来の国体選手や世界大会を目指す選手、また、中学でも陸上教を続けたいと思うあらゆるきっかけとなるイベントにしていきたいと思えます。





＜第40回全国都道府県女子駅伝競走大会 結果報告＞

2時間21分33秒 26位

まずは関係者様の多大な労力のお陰により、都道府県対抗女子駅伝が2年ぶりに無事、開催されましたことに感謝いたします。女子駅伝の数日前には男子駅伝の中止が発表されるという残念な知らせがありました。開催できない男子駅伝の分も胸に、選手たちはいつも以上に、走らせてもらえることへの感謝の気持ちが強くあふれ出ていました。吉居監督はじめ選手・スタッフ一丸となり、チームの雰囲気もより一層引き締まり、気合と集中力、団結力も自然と高まりました。本番当日まで、体調を崩すこともなく、レースを迎えることができました。1年通して常にレースを本調子で迎えるということはとても難しいことですが、選手たちはよく合わせてきてくれました。レース後に各自が次へと向けて反省をしていた姿に、また来年が楽しみにもなりました。

この駅伝はそれぞれの代の選手が集まり1つのチームになる、先輩から学んだり選手同士が刺激をし合ったりできることが1番の醍醐味といえます。今回、補欠の選手も我こそはと力をつけてきてくれること、新たにチームを引っ張る選手も出てきてくれることを期待しています。また、この駅伝に1人でも多くの選手が出場したいと思えるよう、全体の底上げもしていきたいところです。

何はともあれ、このようなコロナ渦の中で、こうやって選手は全力で『走りたい！つなぎたい！』という気持ちをこめて走り、襷をつないだという事実はこの先の未来に1つの明るい光を照らしてくれました。国体まであと3年となりました。駅伝を走った選手がトラックでも活躍してくれることを見守っています。

【 普及委員会 】

■第37回全国小学生陸上競技交流大会

2021年9月19日、神奈川県日産スタジアムにて行われました。コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時期がずれ、規模は今までより縮小して行われましたが、滋賀県代表として8名の選手が健闘しました。中でも、6年女子100m走に出場した薬師寺愛葉選手（草津JAC）が13秒01でA決勝3着で入賞しました。



■第5回滋賀小学生陸上チャレンジフェスタ

2021年11月6日、布引陸上競技場にて行われました。今回は小学5年生のみが対象でしたが120名の選手が集まってくれました。前半は、三重国体に滋賀県代表として選ばれた選手と強化コーチの先生方に、走・跳・投のブロックに分かれて子供たちに実技指導を行っていただき、後半は記録会を行いました。最後はお楽しみ抽選会も開催され、大変盛り上がった普及イベントとなりました。



■その他、10月には5・6年生を対象としたSGH県小学生秋季陸上記録会、11月には県小学生秋季記録会を開催しました。



【 高体連 】

2021年10月22日～24日に愛媛県総合運動公園において、第15回U18陸上競技大会が開催されました。本大会は、幅広い競技者のトレーニング内容に変化を与え、他種目への挑戦を促すために、エントリーの条件として、実施種目に加えて他の申込資格種目の標準記録が設定されています。

上位入賞者は以下の通りです。

<男子>

- ・ハンマー投 第6位 中林 朋大(2) (滋賀学園高) [54m64]

<女子>

- ・800m 第3位 西田 有里(1) (草津東高) [2分10秒47]
- ・100mH 第5位 前田 光希(2) (立命館守山高) [13秒69] (※0.762m)
- ・3000mW 第2位 石田 さつき(2) (大津商業高) [13分42秒75]

11月7日に希望が丘文化公園で行われた滋賀県高校駅伝において、男子の部では滋賀学園高校が全員区間賞という好成績で4年連続14回目の優勝、女子の部では9年連続11回目の優勝を果たし、12月26日に京都で行われる全国高校駅伝の出場権を獲得しました。全国高校駅伝の結果は、滋賀学園高校が18位、比叡山高校が35位という結果でした。以下、滋賀県高校駅伝及び全国高校駅伝の詳細な結果です。

<滋賀県高校駅伝>

◎男子

- 第1位 滋賀学園高校 2時間10分28秒
- 第2位 比叡山高校 2時間16分11秒
- 第3位 草津東高校 2時間18分20秒

◎女子

- 第1位 比叡山高校 1時間14分55秒
- 第2位 草津東高校 1時間16分10秒
- 第3位 滋賀学園高校 1時間20分18秒





<全国高校駅伝>

◎男子

第18位 滋賀学園高校 2時間05分34秒

◎女子

第35位 比叡山高校 1時間14分20秒

まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、部活動の自粛要請等により開催できなかった大会もありましたが、2021シーズンの主要な大会を無事開催することができました。高体連を支えて下さる皆様にも、応援の自粛等様々な場面においてご協力いただき、ありがとうございました。2021年12月末には高体連主催の3日間の選抜冬季強化練習会、2022年1月～3月には全5回の強化練習会が予定されています。滋賀県勢が大きく飛躍できるように新たな目標を掲げ、一致団結して精進していきたいと思っております。今後とも、高体連の活動への応援、サポートよろしくお願いたします。

【 中体連 】

10月22日～24日に愛媛県総合運動公園陸上競技場にて、第52回U16陸上競技大会が行われました。今大会は今年度より新たな種目が設定されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で各校での活動も大きく制限され、参加した選手は十分に練習を積むことができない状況でした。そのような中でも、男子1000mに出場した落合晃選手(今津中・3年)が2'32"15という素晴らしいタイムで、見事4位入賞を果たしてくれました。

また、2年ぶりに滋賀県希望が丘文化公園で第29回全国中学校駅伝大会が開催されました。感染症対策を講じながらの大会運営となり、入場制限など例年とは異なる大会となりました。男子は京都代表の京都市立桂中学校、女子は兵庫県代表の稲美町立稲美中学校が見事優勝を果たしました。滋賀県代表として出場した甲賀市立甲南中学校男子チームが37位、大津市立瀬田中学校女子チームが42位、開催地代表として出場した甲賀市立水口中学校男子チームが47位、滋賀県立水口東中学校女子チームが45位という結果となりました。滋賀県で全国中学校駅伝大会が開催され6年目となりますが、滋賀県代表校の結果が低迷し続けており、強化策の抜本的な見直しが急務です。トラックシーズンだけでなく、駅伝シーズンでも滋賀県の選手たちが活躍してくれることを期待しています。

[編集後記]

2021年度の競技会も無事終了、本年度もかなりの制約の中での実施となりました。滋賀国スポが近づく中、準備を着々と進めなければなりません。選手の活躍とともに協会の運営も充実させていく必要があります。みなさまのご協力をお願いします。